

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシノドリ」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和2年10月21日 発行
No. 118

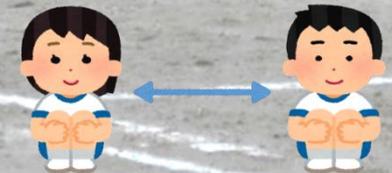
発行・編集
習志野市教育委員会
〒275-8601
習志野市鷺沼 2-1-1
☎ 047-451-1151 (代表)

秋の大運動会

袖ヶ浦東小学校



袖ヶ浦東小学校では『全身全霊で限界を超えろ!』のスローガンのもと、低・中・高学年の各ブロック 45 分で、走競技とリズム・表現の2種目を発表しました。保護者の方々には事前に検温・接触確認アプリの利用や入れ替え制に協力していただきながら、ソーシャルディスタンスを意識して参観していただきました。



第四中学校



学年毎の実施とした今年度の運動会。当日は、朝まで続いた雨の影響でグラウンドの状態が良くありませんでしたが、1・2年生の生徒が3年生のために必死にグラウンド整備をしてくれました。保護者の参観は、1家族2名までと制限。観戦できる場所を例年よりも広くとり、生徒と保護者の接触がないよう動線を分けました。

『四中魂』を胸に大いに盛り上がり、生徒たちの表情は充実感で満ち溢れていました。



《第118号》



テーマ「安全安心な学校づくり」

コロナ対策を講じた運動会・体育祭 …1
鹿野山出前授業 …2
スクールサポートスタッフの紹介 …3
コロナ対応を講じた給食 …4

習志野GIGAスクール構想 …5
文教住宅都市憲章施行50周年
二中生感謝状授与 …6
地域のスポーツ大会

特色ある教育活動紹介 …7
～第一中学校～
習志野高校ニュース …8
教育長コラム

鹿野山少年自然の家は、ほかの宿泊施設と比べ、より深く自然と触れ合うことができる場所だと思います。少しでも自然の魅力が伝えられればと所員全員で知恵を絞りながら、鹿野山での自然体験のエッセンスを抽出し、出前授業を用意しました。どの学習も自信を持ってお勧めできるものとなっています。新型コロナウイルスの影響で大変かとは思いますが、出前授業を選択肢の一つとして考えていただけたら幸いです。
(鹿野山少年自然の家 笹生研究指導主事)

9月3日(木) 植物学習、天文学習 大久保東小学校4年生



サンショウの葉を子どもたちに配り、手でこすって、サンショウ特有の匂いを嗅いでもらいました。

天文学習では、子どもたちに恒星役、惑星役、衛星役をしてもらい、星がどのように動いているかを紹介しました。



出前授業を体験して(4年生の感想)

- 鹿野山の先生方が自然と天文学習について出前授業をしてくれました。どちらも詳しく説明をしてくれたので、鹿野山の自然についてたくさん知ることができました。今年は鹿野山に行けなくなってとても残念だったので、来年は必ず行きたいです。(Oさん)
- 出前授業では、星のことや太陽のまわりを地球が周り、地球のまわりを月が周るなど、様々なことを知ることができました。また、今まで知らなかった葉の名前を教えてもらい、葉のおいをかいたり、触ったりできて、とてもよかったです。(Hさん)

【今後の予定】

- 10月 実花小4年生、袖ヶ浦西小6年生
- 11月 実籾小6年生
- 12月 大久保東小5年生

9月10日(木) ひねり竹とんぼづくり 大久保東小学校6年生



羽根表面のさくれなどを小刀で削り取り、なめらかにします。

竹とんぼの羽根をろうそくの火で加熱し、ひねります。「熱を加えると形を加工できる」という竹の性質を使っています。



出前授業を体験して(6年生の感想)

- 出前授業で竹とんぼを作ることができて、とても楽しかったです。今まで一から作る事がなかったので貴重な体験でした。お忙しい中教えていただき、ありがとうございました。(Kさん)
- 今回の出前授業では、竹のことなど勉強になりました。6年生で最後の鹿野山だったから残念だったけど、竹とんぼづくりができて嬉しかったし、思い出になりました。世界で一つだけの私の竹とんぼを大切にします。(Tさん)
- 竹とんぼづくりは初めてだったけれど、うまく出来てよかったです。削りの作業ではうまく削れるか不安だったけど、つるつるにして、上手に形も整えることができたので、満足です。あまりうまく最初は飛ばなかったけど、うまく飛ばるように調整して、遊びたいです。(Sさん)

様々な角度から先生方をサポート

スクールサポートスタッフ

School
Support
Staff



平成30年度よりスタートした“スクール・サポート・スタッフ”配置支援事業。

教員免許を持っていない方でも、“子どもたちのために”、“先生たちのために”、“学校のために”働きたい！という方たちがスクール・サポート・スタッフとして、学校で勤務し、様々な角度から先生たちの業務を支援し、教育活動の充実のために働いています。

現在、習志野市では15名のスクール・サポート・スタッフの皆さんが市内の小・中学校で勤務しています。

今回は、その中で3名のスクール・サポート・スタッフさんにお話を伺い、実際に働いてみた感想などを紹介します。

第六中学校で勤務



村山 由希子さん

スクール・サポート・スタッフとして働こうと思ったきっかけ

昨年、PTA 役員を務めていた時、授業以外で膨大な業務を抱え、奮闘されている先生方の姿を身近に拝見する機会がありました。そんな中、SSS のお仕事の話をいただき、私にもお手伝いできることがあるかもしれないと考え、SSS として働き始めました。

月末など、時間に追われることがありますが、とても楽しくお仕事をさせていただいています。「助かります」「ありがとうございます」と先生方から声をかけていただくことが本当に励みになります。

立場上できる仕事に限られていますが、もっと気軽に声をかけていただき、少しずつ仕事の幅を広げられるよう頑張りたいと思います。



スクール・サポート・スタッフとして働こうと思ったきっかけ

将来の夢=先生でした。しかし、教育実習で生徒への重責を感じ断念しました。時は流れ、保護者と学校の架け橋になればと PTA 執行部を4年間務めました。その経験を活かして、多忙な先生方のお手伝いをしたいと思い、SSS に応募しました。

秋本 美紀さん
屋敷小学校で勤務



子どもたちの元気な声が聞こえる環境（学校）で働くことが一番の楽しみです。そして、その子どもたちが成長していく姿を見守ることができることも喜びです。こうして、学校や子どもたちのためにやりがいを感じながら、職務を果たしております。



香澄小学校で勤務



信安 直子さん

スクール・サポート・スタッフとして働こうと思ったきっかけ

昨年、お話をいただき、このお仕事に就かせていただきました。忙しくても大変でも、我慢強くお仕事をされている先生方のお手伝いが少しでもできればと思い、今年度も勤務させていただいています。

先生のお仕事が多岐に渡っていらっしゃるなので、いろいろな依頼があり楽しいです。いつも決まった仕事ではなく、その時に依頼のあったお仕事をするので、日々新鮮な気持ちで働いています。



各学校の給食時の感染予防の取り組み



学校名	取り組み
津田沼小	配膳時は手袋を着用し、密を避け、会話を控え、各自で片づけを行っています。
大久保小	短時間で配膳を行って、よく噛んで静かに食べるようにしています。
谷津小	配膳台を置く位置を工夫し、牛乳パックのたたみ方を変更しました。
鷺沼小	給食は自分で取りに行き、食事が終わった人から順次マスク着用で片づけをしています。
実籾小	並んで自分の給食を取りに行くことで、ほかの人がお皿等に触れないようにしています。
大久保東小	飛沫感染予防のため、おかわりの際は予備のカップを使用しています。
袖ヶ浦西小	前向きで会話せず会食するため、習志野の民話や教科書の物語などを放送しています。
東習志野小	石鹸手洗いと配膳台の消毒を徹底し、前向きの机配置で無言で食事をしています。
袖ヶ浦東小	手洗いの徹底、私語の厳禁など、感染症対策の基本を日々重ねています。
屋敷小	配膳したものをおたま等で減らすことはせず、一回で適量を盛りつけられるよう工夫しています。
藤崎小	食べ始める前に、個々の給食量を調整して、立ち歩きを減らすようにしています。
実花小	当番児童を最小限にして、少人数で取りに行き、食事は前向きで黙って「もぐもぐタイム」。
向山小	手洗いの歌を流して意識付けを徹底し、当番以外の児童は他の場所を触らないようにして配膳を待っています。
秋津小	担任が配膳し、当番人数を減らしています。おかわりも担任が行っています。
香澄小	手洗い後、ペーパータオルで手を拭いて、使い捨て手袋をして配膳をしています。
谷津南小	配膳は廊下で行い、距離を保っています。食事は全員前向きで私語なく食べています。
第一中	蛇口に指を触れずひねることができるように、各教室にレバーハンドルを取り付けました。
第二中	配膳時は各自で給食を取り、食事中は机を前向きにして、無言で食べています。
第三中	感染防止のため、給食当番は手袋の着用と使用した手袋のごみ捨てを徹底しています。
第四中	当番用のペーパータオルを準備して、配膳台の上には飛沫防止フィルムを設置しています。
第五中	給食当番は使い捨て手袋を使用して配膳しています。私語を謹んで、前向きで食事しています。
第六中	給食当番はエンボス手袋を使用し、素手で食器等に触れないことを徹底しています。

【藤崎小の様子】



各自で給食を取りに行きます

【谷津小の様子】



食事中の換気もしっかりします

【第二中の様子】



使い捨て手袋を着用し配膳します



全員前向きで静かに食事



オープンスペースで距離をとって配膳します



食事の様子

習志野 GIGA スクール構想

習志野市では、「教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画」及び「GIGA スクール構想の実現」に基づき、学校の ICT 環境の整備を進めてきましたが、国からの補正予算が示され、「1人1台端末」を令和2年度中に整備することになりました。

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

習志野の GIGA 構想 端末を活用した取組



1人1台 PC の活用

- タブレット端末約13000台
- 毎時間の活用（「文房具のひとつ」として）
- 児童生徒の調べる、まとめる、発表する等
- クラウド環境の活用（課題配信・回収）
- 教科の特性に応じた深い学び

大型提示装置の活用

- 教員による資料提示
- 児童生徒の発表・情報共有



休校時のオンライン学習支援

- 家庭への通信機器の貸出
 - ・貸出用ルーター 850台
 - ・通信費 3か月分
- オンラインでの朝の会
- Web 会議システムでの双方向・オンライン授業



習志野市整備状況

- 学習用コンピュータ 1人1台
- 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師1人1台
- 大型提示装置 全普通教室・特別教室に整備
- 高速インターネット及び無線LAN 100%整備

習志野市 文教住宅都市憲章 施行50周年！

習志野市文教住宅都市憲章
わたしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化を
はぐくむ調和のとれたまちをつ
つくりま

9月30日、「習志野市文教住宅都市憲章」が施行50周年を迎えました。「憲章」とは根本的な原則に関するきまりという意味です。文教住宅都市憲章は、度重なる市民との話し合いを通じ「全市民が明るく健康で豊かな生活を営むための具体的な条件を明確にする」ため、昭和45年に制定したもので、当時の地方自治法において定められた基本構想としてその役割を担ってきました。

一、わたしたち習志野市民は、青い空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないま
ちをつくりま

一、わたしたち習志野市民は、暖かい生活環境をととのえ、住みよ
いまちをつくりま

一、わたしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化を
はぐくむ調和のとれたまちをつ
つくりま

習志野市ホームページ
「文教住宅都市憲章」



ならしのっ子の活躍



写真撮影時のみマスクを外しています

9月18日(金)第二中学校に於いて、習志野警察署長から習志野市立第二中学校1年須山幹登さん、齊藤仁さんへ感謝状が授与されました。須山さんと、齊藤さんは、帰宅できずに困っていた地域の方を交番まで送り届け、御家族から大変感謝され、感謝状を授与されることとなりました。コロナ禍で窮屈な生活を強いられている今だからこそ、中学生のように困っている人に手を差し伸べられる、そんな温かい気持ちをもって皆が支え合わなければならないと改めて感じました。

須山幹登さん

下校途中に、「交番はどこですか?」と聞かれたので、一番近くの大久保交番に一緒に行きました。この時人を助ける事の大切さを改めて感じました。今後も続けていきたいです。

齊藤仁さん

人としてあたり前のことをしただけです。おばあさんが無事で、よかったです!



コロナに負けるな! 地域のスポーツ大会開催

コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた地域の様々なイベントが、少しずつですが、実施の方向で動き出しました。様々な感染症対策を講じて実施に至った、9月13日(日)開催の「令和2年度習志野市小学校バレー交流会」、21日(月)開催の「第40回習志野市・八千代市少年野球大会」を紹介します。



開会式は、主将のみが参加しました。



審判は、電子ホイッスルを使用しました。



試合毎にベンチの消毒を徹底しました。



会場への出入りは、一方通行の徹底をしました。

第40回習志野市・八千代市少年野球

令和2年度 習志野市小学生バレー交流



開会式は、隣との距離を十分にとりました。



開会式は、全員マスクを着用して参加しました。



ベンチは風通しのよい手前に設置しました。



試合前の挨拶は、主将のみが行いました。

習志野市立第一中学校



生徒数 628 名 学級数 21 (知的特別支援学級 2

自閉症・情緒特別支援学級 1)

学校教育目標 知徳体のバランスのとれた未来を拓く生徒の育成



あしたのハーモニーが響くまち
習志野市

リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 3

《学校の歴史》

平成 29 年に創立 70 周年を迎えた本校は、昭和 22 年に津田沼小学校内に千葉群津田沼町立津田沼中学校として発足しました。その後、大久保旧陸軍連隊跡(現在の泉町 3 丁目)に移転、昭和 24 年に第二中学校と分離し、津田沼町立第一中学校として開校しました。この当時の校舎は JR 津田沼駅南口前(現在のモリシア付近)にありました。その後、昭和 47 年に現在の場所に移転しました。現在の学校周辺はマンションや商業施設が数多く立ち並んでいますが、移転当時の学校周辺は畑が広がっていました。



旧校舎全景



新校舎へ引っ越し (現在の奏の杜1-5 付近)



完成間もない頃の現在の校舎

《学校の特色》

「さわやか一中生」を合言葉に、「文武両道」を目指し、様々なことに積極的に取り組んでいます。今回は本校の特色の一つである音楽集会と部活動について紹介します。

音楽集会は、合唱コンクールとは別に実施されているもので、学年合唱、オーディションにより選ばれたメンバーによる独唱や管弦楽部の発表を公開しています。今年度は中止となってしまいましたが、ぜひとも再開したい行事です。



部活動は、全国優勝の経験がある管弦楽・男子バスケットボール・陸上をはじめ、多くの部が全国大会・関東大会への出場実績を持っています。



H14 男子バスケットボール部
全国大会優勝

全員バスケで勝ち取った勝利!

日々成長していった「破天荒軍団」

男子バスケットボール部は H10 全国ベスト 8、H13 全国ベスト 16、そして H14 に千葉県大会・関東大会共に優勝し、念願の全国制覇を成し遂げました。兵庫全中では、強豪北海道の平岡緑中と対戦し苦しみながらも 16 点差で勝利、決勝は長崎県滑石中と対戦し、4 ピリオドで逆転、20 点差をつけて見事優勝しました。



管弦楽部 大会開催五十
年間に通算十三回の全国
最優秀賞を受賞した全国
学校合奏コンクールの優
勝旗



H22 サッカー部全国大会出場

H30 野球部全国大会



野球部は千葉県新人大会において平成 30・令和元年度と 2 年連続で優勝し、全国大会への出場を決めました。(感染症拡大の影響により令和元年度の全国大会は中止になりました。)

《おわりに》

学校を取り巻く環境は、時代とともに大きく変わりましたが、これまでの伝統を継承しつつ新たな時代へ柔軟に対応できるよう保護者・地域の皆様と協力してより良い学校となるよう努力します。(文責 富田政芳)

9月11日(金)に習高祭文化の部を実施しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、校内で在校生のみ活動とし、チケット制で密を避ける等の対策をとり、全クラス参加による「デザインカーテンコンテスト」、文化部および有志の発表を行いました。

雑草の如く遅しく 芸術の秋

～習志野高校ニュース～



書道パフォーマンス
by 書道部 with 吹奏楽部

様々な制約がある中で、生徒会を中心に知恵を絞り、短い準備期間で見応えのある発表ができたところに、習高生のやる気とパワーを感じました。ここで紹介できなかった発表は、習高公式ホームページで御覧ください。



デザインカーテンコンテスト
優勝 2年E組
QRコードでアクセスすると、メイキング映像が流れ、♪の中に！(ビックリ)が映し出されます。
※個人情報保護のため本号ではアクセスできません。



写真撮影時のみマスクを外しています

美術部の鈴木涼太くん(3年:習七中卒)制作の“Under the Same Sky”(同じ空の下)が2020桜まつりアートコンテストで第1位に選出され、全米大会国際部門でも、5人のファイナリストの1人に選ばれました。

～好きですふるさと習志野～ 教育長コラム

10月と11月の隔週土曜授業は中止し、通常の土曜日に戻しました。……本年度はコロナ禍の影響で6月からの学校開始となり、不足した授業時数の確保のために、夏休みの短縮及び9月から11月までの隔週土曜日に授業を実施する予定でした。その間、各学校の努力と子どもたちの頑張りにより、かなり授業が進みました。さらに修学旅行やセカンドスクール、運動会・体育祭などの「学校ならではの学び」が形を変えたこと、そのことにより準備時間の削減が図れ、授業時数の確保に目処が立ったため、10月から通常の土曜日に戻すことになりました。子どもたちのみならず先生方にとっても、これから来るべき冬の季節に備えることができます。一方で、例年であれば実施していた「学校ならではの学び」が制限されていることも事実です。子どもたちにはつらい思いをさせてしまっています。本当に申し訳なく思っています。現在の教育活動が、子どもたちの我慢の上に成り立っているということを肝に銘じて、「学校ならではの学び」を学校とともに工夫して取り組んでまいります。さらに、本号でも紹介しましたように、本年9月30日をもって「習志野市文教住宅都市憲章」施行50周年を迎えました。「わたくしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくりまします。」とあるように、本市の教育に関わる全ての方とともに、新しい生活様式の中でも「習志野市ならではの教育」を進めてまいります。

(教育長 小熊 隆)